



北広島町  
Kitahiroshima-cho

## 北広島町サイン計画

Kitahiroshima-cho Sign Planning

広島大学産学・地域連携センター  
株式会社GKデザイン総研広島

平成25年3月

# 目次

	序 計画策定の主旨	01
<b>第Ⅰ部</b> サイン基本構想	1. 北広島町の地域特性	03
	1-1. 地域景観の現況	03
	1-2. 観光資源の現況	06
	1-3. 観光資源への交通アクセスの現況	08
	1-4. 観光客の特性と行動パターン	09
	2. 北広島町の屋外サインの現況と課題	10
	2-1. 屋外サインの現況	10
	2-2. 現地調査による確認	15
	2-3. 屋外サインの現況から見た計画上の課題	14
	3. サイン計画の目標と対象	15
	3-1. サイン計画の目標	15
	3-2. サイン計画の対象	19
	4. サイン基本構想	20
	4-1. サイン計画の前提	20
	4-2. 北広島町におけるサインの体系	23
	4-3. サイン整備の基本方針	24
<b>第Ⅱ部</b> サイン整備基本計画	1. 公共サインの整備計画	27
	1-1. 総合案内サイン	27
	1-2. 誘導サイン	29
	1-3. 地域名サイン	35
	1-4. 施設サイン	37
	2. 民間等サインの誘導計画	35
	2-1. 宣伝サイン	35
	2-2. 啓発サイン	37
	3. 八幡高原におけるサイン整備	41
	3-1. 整備するサイン	41
	3-2. 東西エントランスの整備	42
	4. サイン整備のプログラム	44
	4-1. 公共サインの整備プログラム	44
	4-2. 民間等サインの誘導プログラム	45
	4-3. サイン計画の推進体制	45
	4-4. 景観形成に向けてーサイン整備を契機とした場所の修景	45

# 計画策定の主旨

## (1) 計画の背景と目的

北広島町は、「北広島町長期総合計画（平成19年3月）」において「新田園文化のまち」を町の将来像として掲げ、地域の環境や資源を活かしたまちづくりを進め、定住および交流の拡大に取り組んでいる。こうした中で、「北広島町観光振興まちづくり計画（平成20年3月）」での観光サイン整備の言及、商工会青年部による屋外広告物の現況調査（平成22年3月）、広島大学との連携による景観ワークショップ（平成22年9月）などにより、北広島町の屋外サイン（看板・広告等）や地域景観のあり方が検討されてきた。

北広島町の地域景観についてみると、八幡高原を始めとして、山々、田園や農家が形づくる集落の佇まいなど地域固有の資源があり、これらを守り、生かしながら、北広島町ならではの優れた地域景観をつくりあげていくことが重要であるといえる。一方、高速道路出入口や主な交通結節点では宣伝看板や啓発看板が地域景観を劣化させている場合もあり、その改善が課題となっている。さらには、屋外サインが来訪者に地域の情報を的確に伝え、目的地に円滑に誘導するための工夫も求められている。

「北広島町サイン計画」は、屋外サインのあり方について基本的な考え方を整理した上で、公共サインを中心とする「北広島町のサインシステム」の構築、民間サインの誘導を行いながら、サイン整備を契機として地域の景観形成を推進していくことを目的としている。

## (2) 計画の構成と目標年度

本計画は、サイン基本構想、サイン整備基本計画によって構成し、北広島町における屋外サインの整備は本計画に基づいて行うものとする。

本計画は、平成25年度を初年度とする6箇年度の計画とし、平成30年度を目標年度とする。